

歳出予算事業概要書

款 項 目	06 農林水産業費 03 水産業費 04 漁港建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2505000000									
					うち復活額	一般財源	所属課名	水産振興室										
大 中 小 細 事業	001 皆生漁港整備事業 00 00 0	130,000	130,000	220,000	220,000	0	0	内線番号										
財源内訳									国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画計上額				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳										
事業概要 水産物の生産流通機能の増大を図り、水産物の安定供給と漁業地域の活性化を目的として国に事業採択を受けた事業により年次的に漁港整備を行う。					区分	金額		財源	款	項	目	節	細	節	金額			
事業の必要性 皆生漁港は昭和59年に漁港指定を受けて以来、年次的に防波堤、係留施設等の整備を行ってきた。現在、係留施設整備、港内静穏度の確保については、一定の成果を見ているが、漁港開口部における入出港時の波浪、漂砂への対策が急務となっている。ついでに、航路の維持浚渫費用の縮減、漁業活動の促進等、漁家経営の安定化を図るためにも事業継続が必要である。					2	給料		都道	16	02	04	03	004		110,000			
					4	共済費	243											
					7	賃金	1,790	地方	22	01	02	03	001					110,000
					9	旅費	146											
					11	需用費	399											
					12	役務費	55											
					13	委託料	2,686											
					14	使用料及び賃借料	572											
					15	工事請負費	214,000											
					18	備品購入費												
19	負担金補助及び交付	100																
27	公課費	9																
2. 根拠法令 漁港漁場整備法等 関係法令																		
3. 用地の状況																		
4. 基本計画との関連																		
5. 本年度の計画効果																		
計画 防波堤据付工事を行う。 工事費 214,000千円 測量及び試験費 2,686千円 事務費 3,314千円																		
効果 漁業活動の安全性確保、操業性・利便性の向上と共に航路浚渫費用の縮減を図る施設整備を行うことにより、生産性の増加、漁家経営の安定化が図られる。					6. 財源の説明 1 財源内訳 県補助金(補助率1/2) 110,000千円 地方債 110,000千円 2 事務事業評価の反映状況 評価結果・・・現状維持 北防波堤工事が完了した段階で全体事業計画の見直しを行う													
目的別 性質別																		